

地域・在宅看護学概論	2年・前期	1単位 30時間	講師 田村 香奈
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210582

1. 授業のねらい・概要

学生が、在宅で療養している人々や家族の特徴を理解すると共に生活を中心においた看護を学ぶために、地域・在宅看護を取り巻く社会的背景や基盤となる概念、構成する要素を学習し、地域包括ケアシステムについて理解できるようになることを目的とする。学生は演習を通して地域で療養者を支える具体的な社会資源を調べ、発表を通して、社会資源とはなにか理解することを目的とする。また地域・在宅領域で働く看護職が果たす役割とはどのようなものかについて考察する。

2. 学修の到達目標

1. 地域・在宅看護の社会的背景、基盤となる概念、地域・在宅看護の特徴について3項目以上例を用いて述べることができる。(D-2)
2. 在宅療養者や家族の特徴について3項目以上具体例とともに述べるができる。(D-1)
3. 生活の構成要素を分析し、生活を中心においた看護とはどのようなものかについて考察し根拠とともに3項目以上述べるができる。(D-2)
4. 介護保険や医療保険における訪問看護制度の概要を3つ以上の具体的なキーワードを使って述べるができる。(D-3)
5. 療養の場への移行に伴う多職種連携で行う退院支援のポイントを3点以上述べることができる。(D-3)
6. 療養生活を支える社会資源（在宅サービス・施設サービスでの看護職・多職種）とその活用について効果的なプレゼンテーションすることができる。(D-3)
7. 地域包括ケアシステムにおける看護の役割について要点を明確にしプレゼンテーションすることができる。(D-3)
8. 地域・在宅生活の社会的背景や基盤となる概念を説明できる。(D-3)
9. 地域包括ケアシステムにおける自助・互助・公助・共助について説明できる。(D-3)
10. 地域・在宅生活を支えるチームケアの特徴について説明できる。(D-3)
11. 介護保険制度におけるケアマネジメントについてその特徴を説明できる。(D-3)
12. 訪問看護ステーション等地域で提供される医療・看護の具体的な支援を説明できる。(D-3)

3. 授業の進め方

本科目は、地域で生活する療養者を理解するための基本を理解しやすいようにするため視聴覚教材などを通し学習する。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして学生の自主的な取り組みを促すため演習や事前学習型授業およびグループワーク・プレゼンテーションを用いる。

【ICT 活用の有無】

ICT 活用の実施：Classroom を用いたリアクションペーパーを毎回提出する。

4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	地域・在宅看護の社会的背景，基盤となる概念，地域・在宅看護の特徴	講義	予習：テキスト「地域・在宅看護の概念」P15 序章 地域・在宅での暮らし 「メディカ町の暮らし」画像データをダウンロードし基本情報を確認する。 復習：「地域・在宅看護の社会的背景・概念，地域・在宅看護の特徴について」授業内容を振り返りノートに整理する。	田村香奈
2	在宅療養者や家族の特徴と支援（前回の復習ドリル含む）	講義	予習：テキスト「在宅療養者場における家族のとらえ方」pp118-132 を事前に読み，在宅療養者の特徴について理解しておく。 復習：授業でとりあげた事例等とテキストの重要用語を関連付けてポイントをノートに整理する。	田村
3	生活を中心においた看護①	講義 演習	予習：事前配布資料「わたしの生活」を作成する。 復習：「生活」の構成要素と健康について講義内容を参考にしながらまとめる。	田村
4	生活を中心においた看護②	演習	予習：前回作成した「私の生活」と健康・環境についての関連性をノートにまとめる。 復習：グループで共有した内容や提出資料を元に生活と健康・環境について考察する。	田村
5	介護保険や医療保険における訪問看護制度の概要	講義	予習：テキスト「地域療養を支える制度」pp186-191 の介護保険・医療保険制度および「在宅療養を支える訪問看護」について事前に読みノートにまとめる。 復習：テキストの該当部分およびテキスト3)「地域・在宅看護の場を理解しよう」pp43-56 を読み，授業内容を整理・確認する。	田村
6	第1回目～5回目までの振り返り地域・在宅看護の社会的背景 基盤となる概念，地域・在宅看護の特徴 在宅療養者や家族の特徴と支援 介護保険や医療保険における訪問看護制度の概要	演習	予習：第1回目～5回目までの講義資料・該当テキストページや演習内容のノートを見直し，各回のテーマについて発表資料を準備する。 復習：講義内容や調べ学習の確認を行い，グループで発表内容の確認を行う。	田村
7	第1回目～5回目までの振り返り 地域・在宅看護の社会的背景 基盤となる概念，地域・在宅看護の特徴 在宅療養者や家族の特徴と支援 介護保険や医療保険における訪問看護制度の概要	演習	予習：第1回目～5回目までの講義資料・該当テキストページや演習内容のノートを見直し，各回のテーマについて発表資料を準備する。 復習：発表内容や調べ学習の振り返り及び確認を行い，知識の定着をはかる。	田村
8	療養の場への移行に伴う多職種連携で行う退院支援	講義	予習：テキスト「地域包括ケアシステムにおける多職種・多機関連携」pp79-100の項目を	田村

	地域包括ケアにおける多機関・多職種連携		事前に読み特徴についてまとめる。 復習：退院支援に関連する多機関・多職種との連携についてポイントをノートに整理する。	
9	療養生活を支える社会資源とその活用①	講義 演習	予習第5回の講義内容及びテキスト「地域療養を支える制度」pp180-221を事前に読む。 復習：授業内容を踏まえ、さまざまな社会資源の活用における看護職の役割についてノートに整理する。	田村
10	療養生活を支える社会資源とその活用②	講義 演習	予習：前回作成した社会資源の活用における看護職の役割について読み直す。 復習：グループで取り組むテーマに沿った資料を作成する。	田村
11	療養生活を支える社会資源とその活用③	演習	予習：前回のグループワーク資料内容の校正を行う。 復習：発表内容を振り返り、他グループが説明した内容の理解を深める。さまざまな社会資源の活用における看護職の役割についてノートに整理する。	田村
12	地域包括ケアシステムにおける看護の役割 ①在宅ケアの目的・チームケア、セルフケア支援	講義	予習：第1回授業内容を事前に読み返しポイントを整理する。 復習：授業内容とテキストを振り返り地域包括ケアシステムの概要と構成要素についてノートにまとめる。	田村
13	地域包括ケアシステムにおける看護の役割 ②自助・互助・共助・公助	講義 演習	予習：テキスト「地域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護2地域包括ケアシステム」pp26-41を読みポイントを整理する。 復習：自助・互助・共助・公助の定義や具体例についてノートにまとめる。	田村
14	地域包括ケアシステムにおける看護の役割 ③介護保健におけるケアマネジメントの概要	講義	予習：テキスト「在宅看護におけるケースマネジメント・ケアマネジメント」pp158-169を事前に読みポイントを整理する。 復習：講義内容の確認を行い、再度ノートに重要な点をまとめる。	田村
15	地域・在宅看護の対象と地域・在宅における看護活動のまとめ	講義	予習：第1回～14回までのテキスト範囲および授業内容を事前に読み返す。 復習：地域・在宅看護の対象と看護活動について重要なポイントを整理し到達目標項目1～7を中心にノートにまとめる。	田村

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）70%、演習グループワーク取り組み30%で総合的に評価する。
合格基準は定期試験・演習グループワーク（プレゼンテーション含む）を総合して60%に満たない場合、単位認定できない。

評価対象物は、「2.学修の到達目標」に示した達成状況をルーブリック評価表を基に5段階評価で採点する。

プレゼンテーションの評価は、使用媒体の工夫・口頭発表の技術（パフォーマンス）についてルーブリック評価表を用いて学生同士のピアチェックおよび教員がルーブリック評価表で5段階評価を行なった上で整合性を考慮した採点を行う。ルーブリック評価表は第1回講義内で、プレゼンテーション評価表は実施前オリエンテーション内で別途説明を行う。

定期試験の出題範囲および出題方法等は事前に口頭等で提示する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：石田千絵，臺有桂，山下留理子編著 ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア
（第8版）メディカ出版 2025

その他参考文献は、授業中に適宜紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

授業内容について1時間以上の予習および復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

遅刻、欠席ならびに授業中の私語、授業に関係ない言動は慎むこと。

欠席した場合は欠席届をすみやかに担当教員研究室前ボックスもしくは直接教員に提出すること。

（欠席届用紙は教学課にある）

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験実施の際に解答等を説明する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。地域・在宅看護学実習の先修科目である。

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

医療機関及び訪問看護ステーションにおける看護師としての実務経験を活かして、講義を行う。

地域・在宅看護学 講義予定

回数	日程	授業内容	形態	場所 準備	自己学習内容
1	4/15	地域・在宅看護の目的と特徴① 地域と在宅看護	講義		
2	4/22	地域・在宅看護の目的と特徴② 地域・在宅看護の背景	講義 グループワーク		2章 p 50～59
3	4/29	地域・在宅看護の目的と特徴③ 地域・在宅看護の特徴	講義 グループワーク		2章 p 59～74
4	5/2	地域・在宅看護の目的と特徴④ 地域・在宅看護における倫理	講義 グループワーク		2章・3章 p 75～78
5	5/13	地域・在宅看護の目的と特徴⑤ 地域包括ケアシステム	講義 グループワーク		3章 p 79～107
6	5/20	地域・在宅看護の対象者の理解① 対象者の理解	講義 グループワーク		4章 p 108～117
7	5/28	地域・在宅看護の対象者の理解② 家族の理解	講義 グループワーク		4章 p 118～137
8	6/4	地域・在宅看護の支援方法① 訪問看護の特徴	講義 グループワーク		5章 p 138～157
9	6/11	地域・在宅看護の支援方法② ケースマネジメント	講義 グループワーク		6章 p 158～179

10	6/18	地域・在宅看護の支援方法③ 社会資源と保険制度	講義 グループワーク		7章 p 180～199
11	6/25	地域・在宅看護の支援方法④ 法と制度	講義 グループワーク		7章 p 200～227
12	7/2	地域・在宅看護の支援方法⑤ 健康危機・災害対策	講義 グループワーク		8章 p 228～549
13	7/9	地域・在宅看護の動向① 日本及び海外の取り組み	講義 グループワーク		9章 p 250～264
14	7/16	地域・在宅看護の動向② 日本及び海外の取り組み	講義 発表		9章 p 250～264
15	7/23	地域・在宅看護の今後の発展	講義		9章 p 250～264

科目試験 7/30 1限